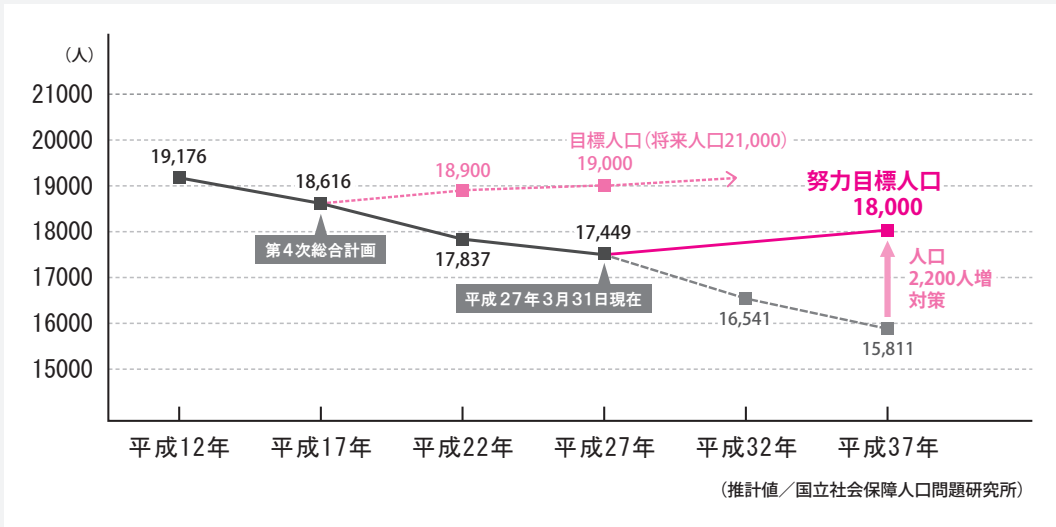


平成37年度の努力目標人口 18,000人

第5次基山町総合計画 連載②
新しい人口の考え方



日本の総人口そのものが減少している中、全国の多くの市町村において、基山町における将来人口推計でも平成37年では1万5,811人と現状の1万7,634人(平成25年)と比べ、1,823人の減少が予測されています。

今後、更なる住環境の整備、教育・子育て環境の充実、福祉医療の充実、にぎわい拠点の創出などに取り組み、人口の定住化や居住機能の向上を図ることで、流出人口を抑制していくことが必要となっています。この厳しい社会情勢を踏まえ、基山町では、この10年間を定住人口獲得の最後の機会と認識し、宅地開発を前提とした人口増対策に取り組み、平成37年の努力目標人口1万8,000人をめざします。

また、新しい人口の考え方として、町民の「活動量」が増えれば、まちの活力を更に拡大させることができます。そのため本計画では、従来からの「定住人口」に加え、新たに「交流人口」、「まちづくり人口」という視点で基山町の人口を考え、人口減少社会の中において、より質の高い行財政運営に努めることで、住民満足度を高め、流出人口の抑制、Uターン者などの受入れに積極的に取り組みます。

シティプロモーションに加え、基山町総合戦略や人口ビジョンなどにより目標人口の実現をめざします。

「シティプロモーション」とは、まちの魅力をさまざまな方向から発掘、創造し、それらを町内外で共有して、まちの価値や印象を高める取組のことだよ



※問合せ先
総務企画課 総合計画推進係
☎92-2188

平成37年度の新しい人口の目標

定住人口 努力目標人口 1万8,000人

「住んでみたい」を実現する基盤づくりや精神的な豊かさの向上に視点を置いた住民満足度の高いまちづくりを進めます。

交流人口 目標人口 500万人 平成25年度 約452万2,821人

「訪れる価値あるまち」としての魅力を高め、交流の起爆剤づくりを進めます。

観光入込み客数+イベント参加者数+駅・高速バス停利用者数

まちづくり人口 目標人口7,000人 平成25年度 約5,643人

定住又は職業の有無に関わらず、町内で『社会的・生産的活動』を行っている人口をその対象ととらえます。従来の生産年齢人口などの区分にとらわれず、まちの活力を示す指標です。

各種団体構成員など